

令和 6 年 度

全国学力・学習状況調査

調査結果の概要及び改善の方向性について



令和 6 年 4 月 18 日に 3 学年を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果をお知らせいたします。

- *今回実施した国語、数学、生徒質問紙に関する本校の概要を示しました。
- *調査教科の課題や指導内容と照らし合わせた改善の方向性を示しました。
- *生活習慣や学習習慣に関する調査について、顕著な項目についてまとめました。

「全国学力・学習状況調査」の全国の結果については、下記のホームページをご覧ください。

国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」ホームページ
<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

令和6年度（2024年度）

※○・・・全国平均を上回っている項目

□・・・全国平均とほぼ同等な項目

▼・・・全国平均を下回っている項目

◇・・・全国平均をやや上回っている項目

◆・・・全校平均をやや下回っている項目

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

□全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

▼全国平均を下回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」

▼全国平均を下回っている。

「書くこと」

○全国平均を上回っている。

「読むこと」

▼全国平均を下回っている。

➢ 事象や行為、心情を表わす語句について理解すること。

➢ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。

➢ 文脈に即して漢字を書き、言葉の意味を理解する。

➢ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。

➢ 場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈すること。

➢ 前後の文の関係や、文脈に即して適切に語の意味を理解する学習活動の充実。

➢ 本や資料から引用したり、使用した資料の典拠を示したりする際のルールに気を付けながら、事実やそれをもとに考えたことを書く活動の充実。

➢ 必要に応じて辞典を活用しながら、様々な場面で文脈に即して書く。また漢字を正しく用いる態度と習慣を養う活動の充実。

➢ 目的や意図に応じて自分の考えを書く。さらに根拠を明確にして書く。事実やそれをもとに考えたことを書く活動の充実。

➢ 場面の展開や登場人物の相互関係や心情の変化などについて、描写をもとに捉えて内容を理解する。考えたことについて、根拠をもって伝え合う学習活動の充実。

- ※○・・・全国平均を上回っている項目
- ・・・全国平均とほぼ同等な項目
- ▼・・・全国平均を下回っている項目

- ◇・・・全国平均をやや上回っている項目
- ◆・・・全校平均をやや下回っている項目

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】 「数と式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 <p>「図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 <p>「関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 <p>「データの活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼全国平均を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 事象を数や式を用いて考察する場面において、事象の特徴を的確に捉えることと自然数を素数の積で表すことができること。 ➢ 図形の性質を考察する場面において、筋道を立てて考えること、事象に即して解釈したことを数学的に表現すること、事柄が成り立つ理由を数学的に説明すること。 ➢ 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 ➢ データの分布を箱ひげ図や四分位範囲等を用いて比較したり、数学的な表現を用いて説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 数を和や積に表すなどして数量の関係性を捉え、事象の特徴を読み取り、説明すること。正の数と負の数を四則演算の方法を考察し、表現できるようにすること。 ➢ 図形の観察や操作、実験などの活動を通して、予想した事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて考えることができるようにすること。 ➢ 日常生活や社会の事象における問題を数学の問題として捉え、数学を活用して解決できるようにすること。 ➢ 箱ひげ図、四分位範囲について正しい理解と、それらを活用して問題を解くことができるようになること。

【質問紙調査】生活や学習に関する調査について

望ましい傾向が読みとれる回答

質 問 事 項

(◎：全国平均を上回っている項目。○：全国平均をやや上回っている項目)
□：全国平均とほぼ同程度

【相互承認の感度】

- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人が困っているときは、進んで助けていますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

【自治活動】

- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

【学習習慣】

- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか

【学習に対する興味・関心】

- 国語の勉強は好きですか
- 数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
- 理科の勉強は好きですか
- 道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

【地域や社会に関わる活動の状況等】

- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

課題があることが読みとれる回答

質 問 事 項

(◆：全国平均をやや下回っている項目)

- ◆ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ◆ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

※回答については、肯定的な傾向のものと否定的な傾向のものに分類して分析しています。